

# ストップ！墜落・転落災害

～建設業における墜落・転落災害を防止するために～

建設業における平成24年10月末までに発生した休業4日以上の労働災害は200件と昨年同期比43件、27.4%の大幅な増加となっています。これらの労働災害を「事故の型別」でみると、「墜落・転落」が66人(33.0%)と最も多く、次いで「切れ・こすれ」が31人(15.5%)、「転倒」が20人(10.0%)となっています。また、昨年は10月から年末までに3件もの墜落による死亡災害が発生しています。これから年末に向けて何かと慌しくなり、さらに、寒冷や降雪等の厳しい季節的な条件が加わり一段と労働災害の発生しやすい状況になること等から、元請事業者の統括安全管理と関係請負人を含めた自主的な安全衛生活動の推進を基本に、今一度<墜落災害防止対策のポイント>について点検し、より一層の労働災害防止対策に取り組みましょう。

## 墜落災害防止重点事項

- 1 元請事業者による統括安全管理の徹底
- 2 リスクアセスメント等の実施
- 3 安全な作業手順の作成と周知
- 4 手すり等の設置・点検・有効保持
- 5 安全帯の使用の徹底
- 6 関係請負人による安全管理の徹底

## 墜落災害防止対策のポイント

### 工事施工前の対策

現場の状況の把握・確認  
リスクアセスメント等の実施  
安全な作業計画・作業手順書の作成

### 工事施工現場での対策

安全な作業計画・作業手順の確認・周知徹底  
手すり等の設置  
(手すり等の設置ができない場合には、)親網の設置

### 作業直前の対策

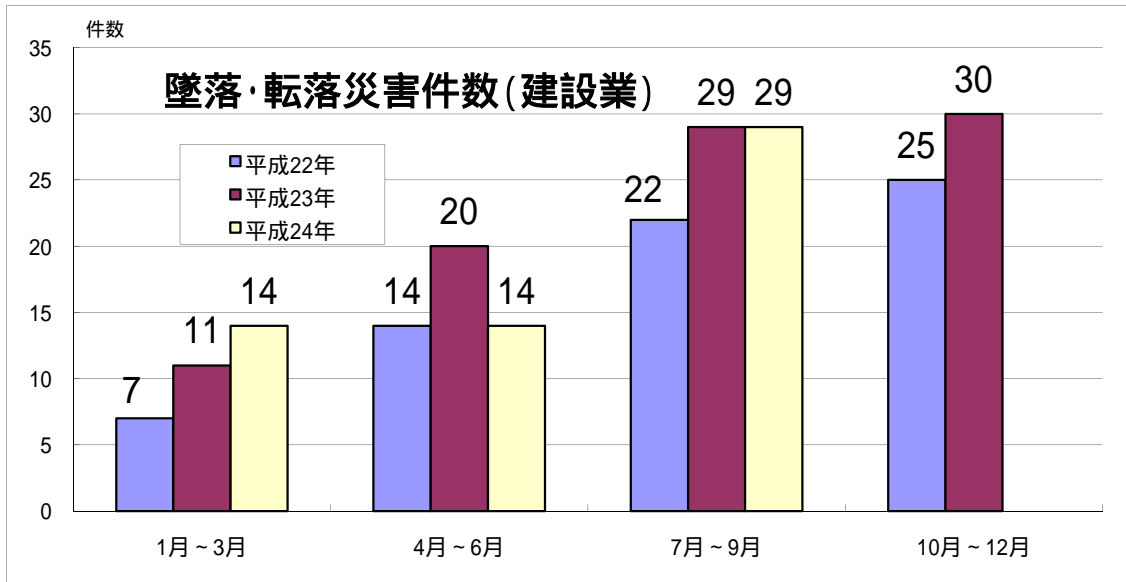
作業に応じたKY活動の励行  
手すり等の点検  
(手すり等の設置ができない場合には、)親網の点検と安全帯使用の徹底

### 作業中の対策

手すり等の有効保持の監視  
(手すり等の設置ができない場合には、)安全帯の使用状況の監視・指導

全員参加でリスクの低減！  
年末・年始を「笑顔」で

危険性又は有害性等の調査(リスクアセスメント)を実施し、その結果に基づき、適切な措置を講じることが必要です。



## 平成23年10月～12月の死亡災害

富山労働局

番号	発生日	業種	事故の型	年代	経験年数	災害発生状況
1	10月	土木工事業	墜落・転落	30歳代	15	落石防止対策工事現場において、工事用資材置き場を使用していた作業構台の解体作業中、斜面上で解体した鋼管パイプを荷揚げしていた際に足を滑らせて約30m下に転げ落ちた。
2	11月	木造家屋建築工事業	墜落・転落	70歳代	20	外壁張替工事で、高さ1.7メートルの足場上から転落し、頭や肩を強打する。災害発生から12日後に死亡した。
3	12月	土木工事業	墜落・転落	50歳代	28	ダム吐水ゲート取換工事において、H鋼にクランプ止めた単管に乗り、ボルト締め作業をしていた労働者2名が単管もろとも約6メートル下に墜落し、1名が死亡した。
4	12月	建築工事業	交通事故(道路)	20歳代	5	東海北陸自動車道のパーキングエリア入り口で、建築用の足場を積んだ3トントラックが左カーブを曲がり切れず、右側ガードレールを突き破って横転、運転者が死亡した。

## 平成24年1月～9月の死亡災害

番号	発生日	業種	事故の型	年代	経験年数	災害発生状況
1	4月	土木工事業	交通事故(道路)	60歳代	7か月	ガス支管入替工事にて発生したアスファルト舗装殻を3トントラックを用いて運搬中に、前方にて右折待ちをしていた10トントラックに追突し、下半身を挟まれ、出血多量により死亡した。
2	5月	木造家屋建築工事業	激突され	70歳代	50	木造住宅基礎工事において、移動式クレーンを用いてコンクリートバケットを吊り上げていたところ、地盤が崩壊し移動式クレーンが倒れ、クレーンのジブが労働者の背面に激突した。
3	8月	土木工事業	崩壊・倒壊	30歳代	2	仮設資材の移動作業を行っていたところ、当該仮設資材に隣接して設置されていたモルタルミキサー(高さ2.17m)が被災者に向かって倒れ、擁壁と倒れたモルタルミキサーとの間に頭部を挟まれ死亡した。